柳瀬川流域ネットワーク

柳瀬川流域ネットワークでは、柳瀬川の「いい川」づくりを目指して提案活動などを行っています。

■団体の概要

柳瀬川流域で活動している市民団体と川に関心を持つ個人が集まり”ゆるやかなネットワーク”として活動するネットワーク団体です。川は都市（まち）の暮らしの根本をささえる大切な資源であるという認識のもと、柳瀬川が未来も「いい川」として人々に親しまれるよう、「(1) 地域住民が親しめ、かかわれる川」「(2) 緑が多く、多様な生物が生息する川」「(3) 健全な水質と流れが確保された川の復活」を目指して、各地域の市民と協力しながら、提案型・参加型の活動を行っています。平成 20 年現在で、9 つの団体会員[3]と 22 人の個人会員で構成されています。

■川づくりの提案活動

平成 8 年の発足以来、清瀬市周辺の柳瀬川中流部の河川改修に対し、川づくり市民プランを描き提案をしてきました。それらの中には、種々の制約から実現しなかったもの、保全できなかったものも多々ありますが、①河道法線の変更による金山公園の保全、②同公園隣接部の緑の岸辺（覆土護岸）などはその成果です。

新河岸川流域河川整備計画の策定の際にも、私達の調査･研究をもとに具体的な提案を行うとともに、専門家を招いて「柳瀬川流域フォーラム」を開催するなど、合意形成に尽力してきました。また、「柳瀬川流域水循環マスタープラン」の策定においても、検討委員会や懇談会に参画するとともに、私達の調査･研究から水質、魚類、河岸状態、市民意識などのデータを提供する他、流域住民の意見交換のコーディネートなどの役割を果たしてきました。

柳瀬川流域フォーラム 2004

多自然川づくりフォーラム

[3] NPO 法人エコシティ志木、ふじみ環境クラブ、川づくり・清瀬の会、柳瀬・空堀清流と緑の会、柳瀬川をきれいにする会、NPO 法人空堀川に清流を取り戻す会、所沢源流の会、北川かっぱの会、武蔵村山市の環境を考える市民の会